

自死総合対策
シンポジウム

自殺予防と自死遺族支援
～いのちの現場で考える

自殺を減らす、自死遺族をささえる

—いま、なすべきことは

社会でまもる人間の「いのち」

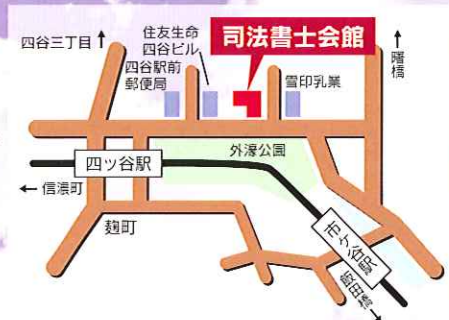
平成20年**8月9日(土)**

受付 午後1時30分～ 開始 午後2時～
終了 午後5時(但し、延長もあり)

司法書士会館地下ホール
(東京都新宿区本塩町9番地3)

【駅からのご案内】

- JR中央線四ツ谷駅下車
徒歩5分(四ツ谷口)
- 地下鉄丸の内線、
南北線四ツ谷駅下車徒歩6分



10年連続で、年間の自殺者数が3万人を超えるという現実に市民一人一人はどう向き合うのか。

また、医療や福祉、法律などに携わる専門家はどのように取り組むのか。その答えを模索し、実践することは、現在の切実な課題である。この課題の達成には、市民、民間団体、行政、各種の専門家が、各自が持つ特長を生かしながら、手を携えて自殺防止、自死遺族支援に取り組むことが必要である。

そのための仕組みをどのように構築するのか、考える。

入場無料
事前受付不要

プログラム

午後1時30分 受付開始
午後2時 開会・主催者あいさつ

午後2時10分 基調講演
「わからない。でも、わかりたい。」
自殺者数10年連続3万人突破の現状を
踏まえ

講師●山口和浩氏
(NPO法人自死遺族支援ネットワークRe代表)

午後3時 パネルディスカッション
「いのち」をどう支えるのか

パネリスト●
柳澤光美氏
(自殺防止対策を考える議員有志の会・参議院議員)

高橋広幸氏
(内閣府自殺対策担当参事官)

大塚俊弘氏
(長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター所長)

杉本脩子氏
(全国自死遺族総合支援センター代表幹事)

大塚淳子氏
(社団法人日本精神保健福祉士協会常務理事)

境 俊明氏
(日本司法書士会連合会理事)

コーディネーター●
齋藤幸光氏
(日司連地域連携対策部自殺対策担当)

午後5時 閉会あいさつ

主 催◆日本司法書士会連合会